

ファンクション<出力 PLOT>





CAD SOLUTIONS Inc.

© 2020 CAD SOLUTIONS Inc.



概略説明

ファンクション <出力 PLOT> は、 MICRO CADAMで作図した図面の印刷を行うため の機能です。

出力のプロセスとして、

- ・印刷したい図面の出図範囲を設定し
- ・それをファイルに保存
- ・出図予約

を行って出力します。

この項で学習すること

- ・プロットデータ(出図範囲)の作成手順
- ・出力装置の登録
- ・パラーメーターの設定
- ・出力操作

・簡易印刷





キー入力によるプロットデータの作成



キー入力によりプロットデータを作成します

1.図面「**PLOT01_BA20**」を開く [図1]

- 2.FK <出力> 【プロットデータ】
- 3. 【キー入力】
- 4. 基準点として、図面の右下のP1をSEL

5. 出力範囲の高さと幅として、 "297, 420" をキーイン

6.Y/N(出力範囲を了承)

最初に選択した基準点に赤丸印が付いて、出力される範囲が 赤い線で囲まれて表示されます。[図2] 基準点(右下)を起点とした高さ、幅の数値キー入力で PLOT範囲を指定したプロットデータが作成されます。

7.【↑】

上記操作で作成したプロットデータは、必ず<ファイル> 【ファイル】で保存してください。





NCラインによるプロットデータの作成



NCラインの定義によりプロットデータを作成します

事前の準備として、まずNCラインを作図します

- 1.図面「**PLOT02_BA20**」を開く [図3]
- 2. <直線>【水平】「①有限」
- 3.P1をSEL
- 4.直線の長さとして、"420"をキーイン
- 5. 画面左方向(*①付近)をIND

長さ420mmの水平線が作成されます。[図4]

6.【垂直】 「④有限」

7.P1をSEL

- 8.直線の長さとして、"297"をキーイン
- 9. 画面上方向(*②付近)をIND

長さ297mmの垂直線が作成されます。[図5] 基準点(右下)を起点として、作図範囲が収まるように水平 線と垂直線を作成しました。 この2本の線が作図範囲を指定するためのNCラインの元にな ります。





NCラインによるプロットデータの作成





NCラインは印刷対象になりません。



実線(太)

実線(中) 実線(細)

破線(中)

破線(細)







矩形指定によるプロットデータの作成



対角の2点を指定してプロットデータを作成します

1.図面「PLOT03_BA20」を開く [図10]

2. <出力> 【プロットデータ】

3.【矩形】

4. 作図範囲の対角の2点としてP1、P2を順次SEL

2点を頂点とした作図範囲が赤い枠で囲まれます。 [図11]

5.Y/N(出力範囲を了承)

6. 【↑】

対角の2点を指定する方法は、あらかじめ点が作図されてい れば「選択(SEL)」で、点が作図されていなければ「指示 (IND)」で指定します。

[図10]	P 2					
			7474 # 9	n - 789	炊重	
	(and			Plas		
			2	Borrios		
			<u>،</u>	Baun3		
			5	Shutte	1	
		ECTION A-A				



出力装置とパラメーター



出力操作を行う前に、出力装置の選択とパラメーターの設定を 行っておく必要があります

■仮想出力装置の選択 [図12]

<出力>【出力装置】で、出力装置を選択します。 出力装置は、使用するプリンター/プロッターに応じて予め 登録が必要です。

ここで選択した出力装置によって、出力操作を実施した後の 結果も変わってきます。

■パラメーターの設定 [図13]

<出力>【パラメータ】の出力装置ダイアログ内の「出力パ ラメーター」で、出力時の各種パラメーターの指定を行います。 パラメーターについては、非常に細かな指定が可能です。

仮想出力装置の登録も、パラメーター設定も、いずれも非常に細かな設定が可能です。 設定時には、「管理運用解説書」または「MC実践操作解説書」を参考にしてください。

[図12]	出力装置				
	仮想出力装置 コント				
	Plotter1 Pen Plotter No. 1 (PLT1)		^		
	Plotter2 Pen Plotter No. 2 (PLT1)				
	Plotter3 Pen Plotter No. 3 (PLT1)				
	Printer1 Printer No. 1 (PRN1)				
	Printer2 Printer No. 2 (PRN1)				
			\vee		
	OK ++>U	∧⊮ 7°			

[図13]	出力パラメーター			
	共通 プロッター プリンター			
	出力装置	PLT1 -	図面の拡大/縮小	100 🕂 %
	出力範囲の調整	調整しない ▼		
	破線の長さ	2		
	矢頭の長さ	3.0		
	矢視の矢頭の長さ		M 1 HAL X1 - WGD10-0	
	ハッチング線の間隔	2		
	ハッチングの線幅	細線		
	文字ボックスの線幅	中線 💌		
	出力枚数	1		
	出力の種類			
	Iラー発生時の処理	次の図面の処理に移	33 🔽	
	プロット・ファイルの作成場所	C:¥MCADAM		参照
	□ 図面枠のスケールをプロット・データ	のスケールこ合わせる	⑦ プロット・ファイルを調	削除する
	□ プロット・サーバーを使って出力す	సె	□ 図面枠キーワート	を出力する
	▶ PDFファイルの透かし文字として	出力する		



プロットデータが定義されている図面を出力します

1. <出力>【出力操作】

図面を操作するダイアログと出力操作ダイアログが表示され ます。[図14][図15]

2. 出力対象の図面として、「PLOT04_BA20.MCD」をSEL

プロットデータが定義済みの図面には「P」マークが付いています。

プロット・ファイル名ダイアログが表示されます。[図15] 新たにスケジュールする図面に付けるプロット・ファイル名 を入力することができます。

4. 「OK」

出力操作ダイアログに出力予約されます。[図16]

5.「出力」(すぐに出力する場合)

予約しておいて後で出力する場合は、「出力予約」を選択し ます。 単一図面のみ出力する事もできますし、複数図面をまとめて 連続出力することも可能です。



[図15] ブロット・ファイル名 プロット・ファイル名 に:¥MCADAM¥04ME4109.0FI OK キャンセル ヘルプ

Г	义	1	6
	ÉÀ	1	U



^{3. 「}選択」

簡易出力



MICRO CADAMでは通常の出力の他に、簡単に出力が出来る	図17]	 MICRO CADAM Helix (RMS) for _Trial 2020-R2 2019-11-22 - [>> ブァイル(F) 編集(E) 切り替え(S) 線種(T) 図面(D) ウインドウ 新規作成(S) 呼び出し(A) 上書を存在の6
「簡易出力」はファンクション <出力> からではなく、画面上部の メニュー・バー「ファイル」から実行します		上書き株存(V) 名前を付けて保存(E) すべて保存(L) 閉じる(C) すべて閉じる(O)
1.図面「 PLOT05_BA20 」を開く		カブセル化図面呼び出し(P) <u>パ</u> 画面印刷(F)
2.メニュー・バー「ファイル」から「簡易出力」をSEL [図17]		印刷の設定(T) 印刷(I) 簡易出力(Y)
簡易出力のダイアログが表示されます。[図18]	छ181	簡易出力
 3.印刷範囲として「指定した範囲」をSEL 4.作図範囲として、対角の2点(*①、*②付近)を順次IND [図19] 		- 印刷範囲 ○ 79547*・942** ● 指定した範囲 ○ 図枠 対角の第1点を選択または指示
簡易出力は、通常の出力操作とは異なり、事前のプロット データの作成は不要です。 その場で作図範囲を指定してすぐに印刷する事ができます。	図19]	印刷 設定 閉じる * ①



2

簡易出力



5.「設定」 [図20] 印刷ダイアログが表示されます。[図21] 6. 「プリンターの設定」 プリンターの設定ダイアログが表示されます。 [図22] 7.「印刷の向き」として「横」をSEL 8. [OK] 9. 「フォーマット設定」 [図21] フォーマット設定ダイアログが表示され、プレビューを確認 することができます。[図23] 簡易出力では、出力に利用するプリンターのトレイの用紙 サイズに合わせてスケールがかかるようになっています。 (自動スケールにチェックがはいっています。) 10. [OK] 11.「閉じる」(印刷ダイアログを閉じます) [図21] 12.「印刷」 (簡易出力ダイアログ) [図20] 印刷が開始されます。 このように簡易出力機能は簡単操作で印刷する事が可能 なので、本出力前の確認出図などに利用できます。

[図20]	[図21]
簡易出力	🍊 印刷
 □ 印刷範囲 ○ アウティブ・୨ィンド?全体 ⑥ 指定した範囲 ○ 図枠 	印刷設定 プ*リッタ名: Canon MG3500 series Printer WS 用紙サイス*: A4 部数: 1 ア*リッタの設定 フィーマット設定
印刷 設定 閉じる	関じる(C) へい

[図22]	プリンターの設定 ×	
[]	ブリンター ブリンター名(N): Canon MG3500 series Printer WS ブロパティ(P)	
	状態: オフライン - 印刷待ちドキュメント 0 個 価格, Cappa MG2500 coixe Drinter	
	編所: http://192.168.10.106:80/wsd/pnpx-metadata.cgi コメント:	
	「用紙」 「印刷の向き」	
	サイズ(Z): A4 C 縦(O)	
	給紙方法(S): 前トレイ 「 値(A)	
	ネットワーク(W) OK キャンセル	

[図23]				
		┌位置とサイズ────		
	[]	下余白:	0.0 ▲ ₹UX-N/	
		左余白:	0.0 ▲ SUX-NN	
		幅のスケール:	1.0	
		高さのスケール:	1.0	
		□中心(A)	■ 縦横比を保持(M)	
		☞ 自動スケール(<u>S</u>))	
	296.9260 x 198.0353 ミリメートル	印刷範囲の向き:	標準	
	Γ ↓ 7° νt*1-(<u>P</u>)		+ > h((c) + 177(1)	
		UK _	ギャッピル(ビ) //ル/ (日)	





CAD SOLUTIONS

※当資料内の文章・画像・商標等(以下、「データ」)に関する著作権とその他の権利は、弊社または原著作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原著作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。